

姫センの飼育員ら講話

東雲高 進路実現の意識高める



篠山東雲高校でこのほど
金校生徒（47人）を

対象に進路講演会があり、姫セントランパーク（姫セン）の飼育員らが動物園の仕事や動物との触れ合いなどについて語った。同校の教頭が姫セン社員だったことが縁で実現。仕事のやりがいや心構えを聞くことで職業を身近に感じ、進路実現に向けて意識を高めてもらう企画した。農業高校として、ウシ、ヤギ、イヌなどを飼育している生徒たちは、動物園の仕事に興味津々の様子で耳を傾けていた。

姫センから、元園長で顧問のさん、飼育員で係長のさん、獣医師のさん、3人が来校した。

さんは幼い頃から動物好き。高校時代は体育教師にも憧れていたと学したが、2年生の時に倒産してしまった。途方に暮れていた春、偶然にも求人募集をしていた姫センに就職することができたと経緯を語り、動物園に公立と私立があることを紹介した。

月の餌代が100~200万円になると伝え、生徒たちの興味を誘つていた。動物園に就職する手段として専門学校に進学したが、2年生の時に倒産してしまった。途方に暮れていた春、偶然にも求人募集をしていた姫センに就職することができたと経緯を語り、動物園に公立と私立があることを紹介した。

「まずは動物たちを健生き物なので海水と同じ濃度の塩分も加えて与えている」と説明した。また、「ゾウ1頭の一日の食事量は150kgで、1カ月の餌代が100~200万円になると伝え、生徒たちの興味を誘つて話をした動物を見たお客様が喜んでくださって」のやりがいにつながっている姿を見るのが私たち

「まずは動物たちを健生き物なので海水と同じ濃度の塩分も加えて与えている」と締めくくった。いる」とし、「自分がなりたい職業に対し、常にアンテナを立てておくこと。それに伴って治療をしたり、餌を考えたり組める仕事を見つけて。自分が楽しむ真剣に取り組める仕事を見つけて。それが大切。若いうちにいとが大切。若いうちにいろいろなことに挑戦し、経験して」と呼びかけていた。

「まずは動物たちを健生き物なので海水と同じ濃度の塩分も加えて与えている」と締めくくった。いる」とし、「自分がなりたい職業に対し、常にアンテナを立てておくこと。それに伴って治療をしたり、餌を考えたり組める仕事を見つけて。自分が楽しむ真剣に取り組める仕事を見つけて。それが大切。若いうちにいとが大切。若いうちにいろいろなことに挑戦し、経験して」と呼びかけていた。

2026年1月18日

丹波新聞

さんの話を熱心に聴く生徒たち=丹波篠山市福住で